


牛久市(うしくし)

	市章等 〒 300-1292 〈住所〉牛久市中央3丁目15番地1 〈TEL〉029-873-2111 〈FAX〉029-873-7510 〈HP〉http://www.city.ushiku.ibaraki.jp 〈e-mail〉webmas@city.ushiku.ibaraki.jp	地域指定 近郊整備	一部事務組合加入事業 退職手当 消防賞じゆつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町 村会館 税滞納整理 利根川水系流域 の水防 消防救急 上水道 し尿処理 火葬場 斎場	公営企業 法非適用(公共下水 宅 造 市場)
	類型 II-1 地方公共 団体コード 082198 面積 58.88 km ²			

<行政組織>

①長等(平成23年5月1日現在)

長	いけのべ かつゆき 池邊 勝幸 (61歳)	任期	平成23年10月2日
		就任回数	2期目
副市長	野口 憲		

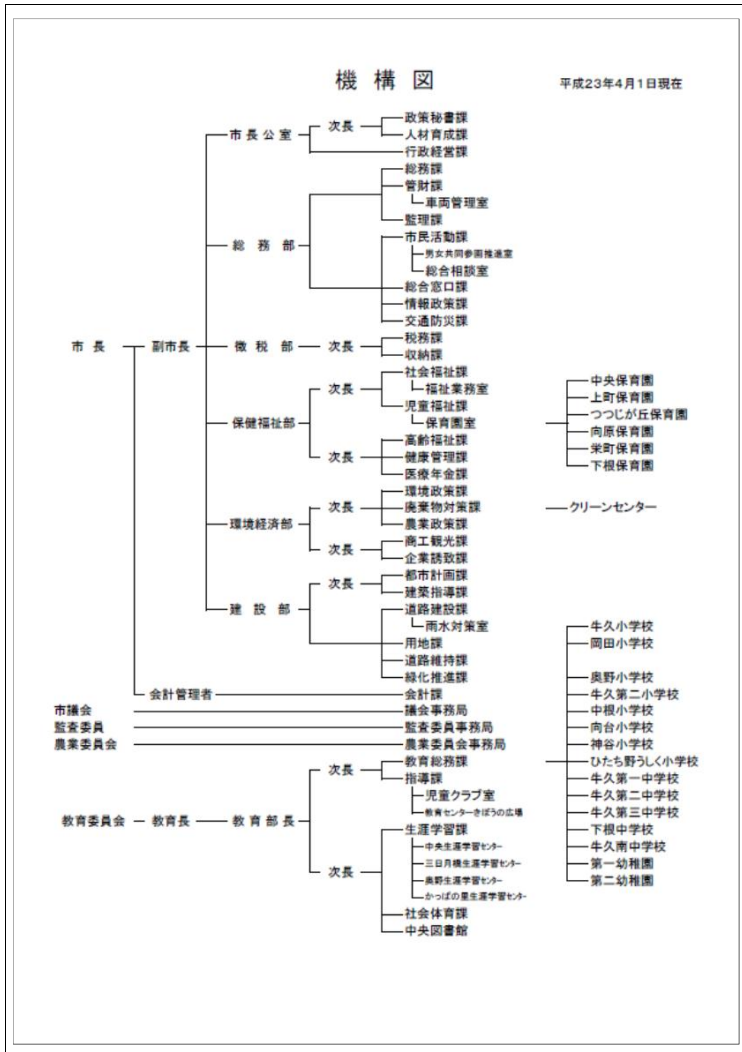
②議会(平成23年5月17日現在)

議長	柳井 哲也		副議長	山越 守	
任期	平成27年4月29日	条例定数	22人	現議員数	22人
党派別	民主1人、公明3人、共産3人、新社会1人、みんな1人、無所属13人				

③職員数(平成22年4月1日現在) (人)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業 会計関係
386	357	304	29
一般行政職の 平均給料月額	3,503 百円	ラスパイ レス指数 96.7	地域手当 補正後 ラス指数 96.7
全職員数の 推移	平成19年4月1日	平成20年4月1日	平成21年4月1日
	417	399	394

④機構図(平成23年4月1日現在)



<概要>

①沿革

昭和29年1月 牛久村が牛久町となる
 昭和29年4月1日 牛久町と岡田村が合体
 昭和30年2月10日 編入 奥野村
 昭和32年7月1日 編入 阿見町大字福田の一部
 昭和61年6月1日 市制施行

②地勢・風土等

牛久市は東京から50km、県南部に位置し、東西14.5km、南北10.7kmの広がり有しており、鼓のような形態となっている。市の中央部を流れる小野川周辺及び南西側の牛久沼周辺は低地部となっており、その他の地域は関東ローム層の稲敷台地部によって形成されている。また、市内を国道6号線と常磐線が縦貫し、東西に首都圏中央連絡自動車道と国道408号線が通過しており、その地の利を生かした街づくりを進めている。特に、東部地区は、農地の保全・活用とともに2つの工業団地を有し、流通・工業ゾーンとしての位置付けがなされており、駅周辺の中心市街地とともに、市民と行政が一体となった魅力ある街づくりに取り組んでいる。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成23年4月1日)
	平成12年	平成17年	平成22年(速報値)	
人口	男	36,390	38,339	—
	女	36,868	38,884	—
	合計	73,258	77,223	81,684
世帯数	24,763	27,917	31,554	31,769

④有権者数(平成23年3月2日現在) ⑤高齢人口割合 (H23.3.31住基人口)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合
	32,928	33,362	66,290	

<産業・経済>

①生産・所得(平成20年度)

市町村内総生産	1,831 億円	就業者1人当り	6,852 千円
住民所得	2,328 億円	人口1人当り	2,909 千円

②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(平成20年度)	就業人口(平成17年国調)
第1次	1,683 0.9%	1,020 2.7%
第2次	48,053 26.2%	9,780 25.6%
第3次	136,961 74.8%	26,194 68.5%
総額・総数	183,119	38,220

③農業・工業・商業 (人・百万円)

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家数	農業就業人口
	792	144	882
製造業 (平成21年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H21.1.1~12.31)
	66	3,325	91,452
卸・小売業 (平成19年6月1日)	商店数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	605	5,144	104,114

④特産物

落花生、大根、すいか、白菜、さつまい

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成20年度決算	平成21年度決算	増減率
歳入	22,249,054	24,391,553	9.6
歳出	21,119,842	23,451,827	11.0
形式収支	1,129,212	939,726	-
実質収支	666,006	610,360	-
単年度収支	117,503	△ 55,646	-
実質単年度収支	9,810	395,507	-

②主な歳入・歳出(平成21年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	24,392	-	2,142	9.6
地方税	11,707	48.0	△ 141	△ 1.2
地方交付税	837	3.4	448	115.5
国庫支出金	4,068	16.7	2,332	134.4
地方債	2,606	10.7	△ 109	△ 4.0
うち臨財債	973	4.0	-	-
その他	5,174	21.2	-	-
うち繰入金	772	3.2	-	-
歳出	23,452	-	2,332	11.0
義務的経費	9,095	38.8	459	5.3
人件費	4,073	17.4	10	0.2
扶助費	2,674	11.4	390	17.1
公債費	2,347	10.0	59	2.6
投資的経費	4,230	18.0	-	-
普通建設事業費	4,230	18.0	275	6.9
うち補助	2,920	12.5	1,593	120.0
うち単独	1,310	5.6	△ 1,318	△ 50.2
その他の経費	10,127	43.2	-	-
うち繰出金	1,878	8.0	-	-

③主要指標(平成21年度)

<健全化判断基準>

実質赤字比率	- % (12.89)
連結実質赤字比率	- % (17.89)
実質公債費比率	5.8 % (25.0) [12.0]
将来負担比率	15.5 % (350.0) [86.6]

<普通会計に関する主な指標>

財政力指数(平成20年度～平成22年度)	0.941 [0.750]
経常収支比率	92.0 % [90.0]
標準財政規模(平成22年度)	14,070 百万円 [15,042]
地方債現在高(A)	22,300 百万円 [21,892]
債務負担行為支出予定額(B)	1,974 百万円 [2,972]
積立金現在高(C)	5,414 百万円 [4,557]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	18,860 百万円 [20,307]

※1 ()は早期健全化基準, []は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均, それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成21年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税・個人(構成比)	5,771,674 (44.6)	5,251,791 (44.9)	91.0
市町村民税・法人(構成比)	503,488 (3.9)	474,796 (4.1)	94.3
固定資産税(構成比)	5,213,933 (40.3)	4,692,563 (40.1)	90.0
市町村税合計(国保除く)	12,952,157	11,707,079	90.4

<公共施設整備状況>(平成21年度)

小学校	7 校	プール	2 か所
中学校	5 校	児童館	0 か所
幼稚園	8 園	老人福祉施設	3 か所
保育所	10 か所	病院・診療所	56 か所
図書館	1 か所	道路改良率	55.92 %
公営住宅	313 戸	道路舗装率	67.15 %
公民館等	5 か所	上水道等普及率	87.96 %
体育館	1 か所	排水等処理率	91.48 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
生ごみ堆肥化モデル事業の推進	H23～	市内刈谷町において生ごみを分別収集し堆肥として再利用を行うことにより、ごみの削減とバイオマスタウン構想の促進を図る	34
農業活性化のための支援	H23～	農業・漁業関係団体への補助を実施しながら組織の運営と活動の支援を行う。特に、設立した農業法人の活動支援を実施	29
市道23号線(北側延伸分)の整備	H23	これまで整備が進められてきた市道23号線について引き続き、牛久大橋から青果市場方面への整備を進める	253
牛久運動公園野球場の改修	H23～ H24	公式の試合を行うことを可能にするため、運動公園野球場グラウンド拡張、バックスクリーン等の改修工事を実施	120
学校給食費の歳計化	H23	各学校において、独自に徴収されていた学校給食費について、滞納等の防止と負担の公平性を維持するため、歳計化により、市が収納の管理を行う	340

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・高齢社会、景気低迷による税収減に対応した財政運営
- ・スロースティリーの創出とともに、バイオマスタウン構想による地域循環型社会の構築
- ・ワインビレッジ構想に基づく牛久駅周辺の活性化
- ・「安全・安心」、「子育て」、「ボランティア」、「情報の共有化」、「健康」日本一のまちづくり
- ・雨水対策事業の推進
- ・震災に伴い破損した公共施設の修繕
- ・行財政改革の推進と中期財政計画に基づく事業展開

<特色ある行政>

- ・総合運動公園体育館、市立図書館のNPOによる運営支援
- ・指定管理者制度による運営(牛久自然観察の森、のぞみ園)
- ・小学校空き教室を利用した保育園の運営(0歳から5歳保育)
- ・KAIZEN活動による行財政改革の推進
- ・児童クラブの教育委員会による運営(7時～19時、土曜日開校)
- ・総合窓口(ワンストップサービスの実施)の設置
- ・非常勤職員の採用による効率的な行政運営とサービスの向上
- ・非常勤一般職員の月例制の導入
- ・ITコーディネーターの導入による電算関係経費の精査
- ・農業法人(うしくグリーンファーム(株))の設立による農業基盤の確立